

安全データシート

改訂日:2020年10月9日

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

会社名

住所

電話番号

整理番号

ヘキサシアノ鉄(Ⅲ)酸カリウム

米山薬品工業株式会社

大阪市中央区道修町2丁目3番11号

(06)6231-3555(大阪・本社)

(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)

(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)

FC0308

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性

ラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語

危険有害性情報

注意書き

急性毒性(経口):区分5(UN)

なし

警告

飲込むと有害のおそれ

【安全対策】

気分が悪い時は医師に連絡すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

化学名又は一般名

別名

化学式

化学物質を特定できる一般的な番号

濃度又は濃度範囲(含有率)

官報公示整理番号(化審法/安衛法)

化学品

ヘキサシアノ鉄(Ⅲ)酸カリウム

フェリシアン化カリウム、赤血カリ

 $K_3[Fe(CN)_6]$

CAS RN:13746-66-2

98%以上

(1)-134

4. 応急措置

吸入した場合

皮膚に付着した場合

眼に入った場合

飲み込んだ場合

予測できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐ／取り除く。皮膚を流水／シャワーで洗う。

水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズをしていて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。

水でうがいさせ、水又は牛乳を飲ませる。無理に吐かせてはならない。速やかに医師の手当てを受ける。

吸入:

咳、咽頭痛

皮膚:

発赤、痛み

眼:

発赤、痛み

経口摂取:

腹痛、吐き気、嘔吐

5. 火災時の措置

適切な消火剤

使ってはならない消火剤

特有の危険有害性

特有の消火方法

消火を行う者の保護

水噴霧、泡消火薬剤、粉末消火薬剤、二酸化炭素

該当情報なし。

不燃性である。火災時に刺激性もしくは有毒なフュームやガスを放出す

該当情報なし。

消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

環境に対する注意事項

封じ込め及び浄化の方法及び機材

二次災害の防止策

処理を行う際には、ゴム手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用すること。

漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

こぼれた物質をプラスチック容器内に掃き入れる。湿らせてもよい場合は、粉塵を避けるために湿らせてから掃き入れる。

該当情報なし。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(局所排気、全体排気)

該当情報なし。

局所排気または全体換気を行なう。

安全取扱い注意事項
 接触回避
 衛生対策

保管

安全な保管条件

安全な容器包装材料

粉じんを吸入しないこと。

酸

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 取扱い後は手などをよく洗うこと。

容器を密閉し、涼しく換気の良いところに保管する。

酸から離しておく。

ガラス、ポリプロピレン、ポリエチレン

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度(出典)

管理濃度

日本産業衛生学会

ACGIH

設備対策

保護具

呼吸用保護具

手の保護具

眼の保護具

皮膚及び身体の保護具

未設定

未設定

TWA 1mg/m³ (ACGIH)

局所排気装置を設置する。

呼吸器用保護具を着用すること。

保護手袋を着用すること。

保護眼鏡、保護面を着用すること。

呼吸器用保護具、保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

色

臭い

融点・凝固点

沸点、初留点及び沸騰範囲

可燃性

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

引火点

自然発火温度

分解温度

pH

動粘性率(粘度)

溶解度

n-オクタノール/水分配係数

蒸気圧

密度及び/又は相対密度

相対ガス密度

蒸発速度

光沢ある稜柱状結晶又は粉末

鮮赤色

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

該当情報なし。

300℃

水に溶けて中性を示す。

該当情報なし。

46g/100ml (20℃, 水)

該当情報なし。

該当情報なし。

1.85g/cm³ (20℃)

該当情報なし。

該当情報なし。

10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性

危険有害反応可能性

熱すれば分解する。日光により黄血カリに変わる。

加熱すると分解し、有毒な気体(シアン化水素など)を生じる。

酸と反応し、シアン化物を生成する。

該当情報なし。

避けるべき条件

混触危険物質

危険有害な分解生成物

酸、酸化剤

シアン化水素、窒素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

呼吸器感作性又は皮膚感作性

生殖細胞変異原性

発がん性

生殖毒性

特定標的臓器毒性(単回暴露)

特定標的臓器毒性(反復暴露)

誤えん有害性

経口：

LD50 マウス 2970mg/kg～3439mg/kgより区分5とした。(JIS区分外)

皮膚、気道を軽く刺激する。(十分なデータがない為分類できない)

眼を軽く刺激する。(十分なデータがない為分類できない)

該当情報なし。(分類できない)

該当情報なし。(分類できない)

該当情報なし。(分類できない)

該当情報なし。(分類できない)

該当情報なし。(分類できない)

該当情報なし。(分類できない)

該当情報なし。(分類できない)

12. 環境影響情報

生態毒性

残留性・分解性

該当情報なし。

該当情報なし。

生体蓄積性
 土壌中の移動性
 オゾン層への有害性

該当情報なし。
 該当情報なし。
 当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上
 望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号
 品名(国連輸送名)
 国連分類
 容器等級
 輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策
 国内規制がある場合の規制情報
 陸上輸送
 海上輸送
 航空輸送
 応急措置指針番号

—
 —
 —
 —
 運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。
 該当法規制特定できず。
 消防法の規定に従う。
 船舶安全法の規定に従う。
 航空法の規定に従う。
 —

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)
 毒物及び劇物取締法
 労働安全衛生法
 消防法
 水質汚濁防止法

指定化学物質に該当しない。
 毒物及び劇物に該当しない。
 施行令第18条の2[名称等を通知すべき有害物(SDS対象物質)](鉄水溶性塩)
 危険物に該当しない。
 有害物質

16. その他の情報

参考文献

The-Sigma-Aldrich Library REGULATORY and Safety Data Vol.3
 16615の化学商品(化学工業日報社)
 国際化学物質安全性カード(ICSC)
 GHS対応ガイドライン(日本化学工業協会)
 GHSの挑戦(化学工業日報社)
 NITE-CHIRP(製品評価技術基盤機構HP)
 GESTIS Substance Database

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。